

～会長便り～

皆様には既にお知らせの通り、3月末を持って「佐世保市薬剤師会会営薬局」を閉局いたします。有難い事に、薬局事業は手を上げて頂いた法人に引き継がれ、これまでの薬剤師の先生、スタッフの皆様は引き続き従事して頂く事になっています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

会営薬局は平成13年、長崎労災病院の処方せんを受ける形でスタートしました。私の知る限り、当時は佐世保市立総合病院が希望者の院外処方箋発行を行っていた状況で、全面的に外来患者さんの処方せんを院外に発行する事になったのは市内の基幹病院の中で長崎労災病院が初めてだったと記憶しています。その時の先輩方のご苦労は大変なものだったと思います。処方せんを発行する病院側も、病院の近くでしっかり対応できる薬局がある事が院外処方せんを全面的に発行する大事な要素だったでしょう。そのため佐世保市薬剤師会が運営する会営薬局の開局がそれを担保する事だったと推測致します。今ではその様な考え方は難しいのですが、院外処方せん発行初期の時代は出す側、受ける側もある意味安心して院外処方せん事業が進むことを願ったのです。その様な会営薬局でしたが、実際は常に薬剤師不足に悩まされ、現場の皆さんにはご苦労をお掛けしてきたと思います。会営薬局の理想は、保険調剤薬局の先頭を走り、会員薬局がお困りの時は薬剤師を派遣できる位の事が出来ればと考えていたと思いますが、現実にはなかなかそうはいきませんでした。それでも、佐世保地域の医薬分業を促進させ、定着させるなど、一定の役割は果たしてきたと思っています。道半ばではありますが今後は民間に譲渡し更に地域医療に貢献して頂けることを祈念いたします。当時ご尽力された先輩方、これまで会営薬局に携わって頂いた方々に感謝し、バトンを移したいと存じます。本当に有難うございました。

～会営薬局運営委員会便り～

本年の3月末をもって、会営薬局の事業の運営を終了する運びとなりました。4月以降は、譲渡先として手を挙げて頂いた会員の薬局へ引き継ぐ方向で、現在はその手続きを進めているところであります。平成13年9月に開局して以来、多くの方々のご支援を賜りながら、薬局の運営を継続してまいりました。

開局するにあたっては、多くの諸先輩方が、様々な思いを持って、会営薬局の立ち上げにご尽力されたことと拝察いたします。また、この長い歳月を振り返れば、医薬分業率が50%に満たない状況から、今では分業が当たり前時代へと移り変わり、後発医薬品の推進や医療DXの導入、対物業務から対人業務への変遷など、移り変わるそれぞれの時代において、現場で業務に従事してこられたスタッフの皆様には、多くのご苦労があったことと思いますし、長きに渡って継続してこられたのも、その日々の積み重ねによるものと感謝致します。そして何より、会営薬局をかかりつけ薬局としてご利用いただいた患者様には、感謝の念に堪えません。↑

薬剤師会としての運営は終了しますが、薬局はこれまでどおりに継続していきますので、これからの薬局の繁栄を祈念するとともに、会営薬局に携わっていただいた全ての方々に重ねてお礼申し上げます。

～(一社)佐世保市薬剤師会祝賀会 終了～

去る2月11日(日・祝)、4年ぶりの祝賀会をJAさせぼホールにて開催致しました。今年は、11名の方が各種表彰を受けられ、28名の方が賀寿をお迎えになられました。皆様の今後の更なるご活躍をお祈り申し上げます。

三連休の中日(なかび)お忙しい中ご出席いただいた会員の皆様、誠にありがとうございました。

～佐世保市健康寿命延伸推進協議会より「歩こーで！」アプリ登録のお願い～

協議会アプリ「健康サセボン」は令和6年3月末をもってサービス終了となり、今後は長崎県のアプリ「歩こーで！」を活用されます。

そこでまずは下記QRコードよりアプリの登録を行い皆様の健康づくりへ継続してご利用いただきたいと思います。 問い合わせ先：佐世保市健康づくり課

iPhone用QRコード



Android用QRコード



佐世保市薬剤師会 会務報告【2月】

8日	社会保険委員会	オンライン会議
11日	祝賀会	JAさせぼホール
14日	三役会	市薬会議室
20日	在宅医療・介護保険委員会	市薬会議室
21日	常務会 佐世保中央病院がん薬物療法勉強会	市薬会議室 オンライン研修会
27日	生涯教育	ハイブリッド研修会
28日	佐世保県北区域地域医療構想調整会議(井手)	オンライン会議